



新受験ゼミナール①

新受験ゼミナールの開講にあたって

協会誌編集事務局

はじめに

新年を迎えて、「一年の計は元旦にあり」と各種の取り組みに決意も新たにされていることでしょう。の中には今年に資格にチャレンジしようと考えている方も多いと思います。協会では会員の皆様の資格取得を支援に関する連載記事「新受験ゼミナール」を掲載することと致しました。

1. なぜ土木技術者に資格が必要か？

昨今の社会情勢から、土木分野で働く技術者にとって資格の重要性は益々高くなってきています。個人の資質や実力が、実務経験だけでなくより見える形で重視される時代への変わりつつあります。また、能力に応じた業務と責任を果たし、それに見合った待遇を得ることのできる就業環境とすることが社会的にも求められることから、個人や組織を適切に評価するための尺度が不可欠です。更に土木の仕事が社会からの信頼性を高めるために、どのような技術者が如何なる責任で関与しているかを社会に示す必要性があります。一方、社会インフラ老朽化という重要課題への的確な対応等のためには、日進月歩する新しい技術成果を確実に業務への反映するため、土木技術者は継続的な技術レベル向上が求められています。

2. これまでの取り組み

協会誌ではかつて「受験ゼミナール」として表①のように資格取得支援のための連載を実施してきました。これらは、出題予想問題と模範解答の例示紹介を中心とした記事で一部会員の方には有効なものでしたが、長年の取り組みによりややマンネリ化したことや、会員に実施したアンケートでは利用者が極めて限定されており継続を望む声が多かったこと、あるいは編集側からは問題作成等に多大な労力を要していた等の理由から平成 29 年末をもって掲載を中止しました。

表① これまでの受験ゼミナール掲載内容

資格名	掲載開始	掲載終了	回数
鉄道設計技士	2006年1月	2013年3月	86回
軌道管理者	2006年1月	2006年10月	10回
工事管理者	2006年7月	2007年12月	12回
技術士	2013年1月	2017年12月	56回

*これらの内容は協会誌 HP 協会誌電子版から検索可能

3. 新連載の基本的な考え方

その後 2 年あまり経過し、昨今の会員からの声、特に若手技術者からの資格取得関連記事への要望への対応、上記に述べた技術資格に対する社会情勢の進捗、及び鉄道施設における仕事を遂行する上で各種資格の必要性や有効性の向上などから、今年からこれまでとは違う形で資格取得支援記事の掲載を開始することとしました。

新たにシリーズを始めるにあたり、基本的には以下のスタンスで取り組むこととしました。

(1) 会員のニーズへの対応

現在会員も鉄道事業者に留まらず、関連会社や技術コンサル系会社や用地関連会社など多様化しております。こうした幅広い会員のニーズに対応して関連する資格取得について幅広く取り組んでいきます。

(2) 掲載内容の見直し

これまでの出題予想問題と模範解答の例示も資格取得には有効な情報でしたが、それに拘らず、勉強法等の紹介を望む声があることを踏まえて、柔軟に対応していきます。また、より実務的なものとするため、試験のスケジュールを考慮して掲載を行い、タイムリーな情報発信に努めます。

(3) 会員の有数する有効な情報の展開

土木技術に関する資格は合格定数があるものではなく、一定の水準で合否が決まるものなので、有効な情報を展開することにより会員の中からより多くの資格取得が可能となります。このため関係各社及び会員のご理解とご協力を

頂き、有効な関連情報をご提供いただき、広く展開することが重要と考えています。

(4) インターネット時代に対応したしくみ作り

誌面だけでは必ずしも十分でないため、会員番号を持ってインターネットで見ることできるようになった当協会誌のメリットを生かして、回答事例等のより限定したニーズに対応した情報の提供も将来的に実施することを検討していきます。また、他協会で既に実施しているインターラクティブな CAI (computer assisted insirauction) システムの活用なども検討していきます。

4. 今後の予定

このシリーズの開始にあたり、鉄道事業者や建設業界及びコンサル等の会員会社に必要な資格やその取得への支援状況について事前調査を実施しました。必要な資格については、多岐にわたりまた業種によりニーズが大きく異な

ります(表②)。これらの中から、第1回目は施工会社に特に必要とされている土木施工管理士一級について取り上げることとします。そして次年度には技術士を取り上げることとし、その間に受験時期に合わせて、昨今の異常気象等への対応力強化のため専門家だけでなく鉄道事業者にもニーズが高まってきた気象予想士などについても情報を提供する予定です。

おわりに

新受験ゼミナールは資格取得にチャレンジする会員の皆様のための企画です。取り上げてほしい資格や掲載方等へのご意見を反映してより良いものとしていきたいと考えていますので、ご意見及びご要望等をどしどしお寄せください。本企画が会員の皆様の資格取得に少しでもお役に立ち、それにより鉄道施設分野の技術力の向上等につながるよう取り組んでいきます。

表② 鉄道土木分野で必要な主な資格一覧

分野	資格名	試験日程 (2019年)		試験実施団体	土木関係資格ランキング*
		試験	2次試験		
土木	技術士(総合技術監理部門)	2019/7/14/15	2019/11/29	日本技術士協会	4
土木	技術士(上記以外の技術部門)	2019/7/15	2019/11/29	日本技術士協会	1
土木	鉄道設計技士	2019/10/27		鉄道総合技術研究所	
土木	土木鋼構造物診断士	2019/10/20		日本鋼構造協会	
土木	コンクリート診断士	2019/7/21		コンクリート工学会	6
土木	コンクリート技士	2019/11/24		コンクリート工学会	9
土木	コンクリート主任技士	2019/11/24		コンクリート工学会	
土木	コンクリート構造診断士	2019/7/7		プレストレストコンクリート工学会	
土木	プレストレストコンクリート技士	2019/10/20		プレストレストコンクリート工学会	
土木	道路橋点検士	2019/9/9 ~ 9/11 【研修会受講し、最終日にテスト】		橋梁調査会	
土木	RCCM	2019/11/10		建設コンサルタント協会	5
土木	CAD利用技術者一級	2019/6/16	2019/11/10	コンピュータ教育振興協会	
土木	環境計量士	2019/12/15		経済産業省	
土木	土木学会上級技術者	2019/9/14		土木学会	
土木	地質調査技士	2019/7/13		全国地質調査業協会連合会	
土木	測量士	2019/5/19		※国土地理院	7
施工	土木施工管理技士一級	2019/7/7	2019/10/6	全国建設研修センター	2
施工	工事管理者	地区別スケジュールによる		日本鉄道施設協会	
施工	軌道工事管理者	地区別スケジュールによる		日本鉄道施設協会	
施工	あと施工アンカー技術管理士	2019/9/1		日本建築あとアンカー協会	
用地	宅地建物取扱士	2019/10/20		不動産適正取引推進機構	
用地	土地家屋調査士	2019/10/20	2020/1/23	法務省	
保線	鉄道技術検定	2019/11/4		日本鉄道施設協会	
その他	気象予報士	2019/8/25		気象業務推進センター	
安全	労務安全コンサルタント	2019/10/29	2020/1中	安全衛生技術センター	8

*インターネット記事“Career Picks”による